

交換留学帰国報告書

記入 | 2022 年 5 月
所属 & 学年 | 文学部 4 年
卒業予定 | 2024 年 3 月

留学先大学	ブリティッシュコロンビア大学
留学先国	カナダ
留学期間	約 8 ヶ月 (3 年次に留学)
留学開始 - 終了	2021 年 9 月 3 日 - 2022 年 5 月 5 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

カナダは多文化主義国であり、多文化共生の在り方を自分の目で見たいと感じたから。特にバンクーバーはアジア系移民が多く、英語教育を始めとして言語教育も発達していることに興味があった。
ブリティッシュコロンビア大学に興味のある講義があった上、本大学はカナダ国内で 2 位、世界でも 34 位に位置する総合大学で意識の高い学生たちと切磋琢磨できると考えたから。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

留学に対してのあこがれは昔からあったが、大学 1 年次のトゥエンテ大学での短期海外研修を経て、このように世界中から来た学生たちと共に学んでみたいという思いがより強くなった。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
オランダ・トゥエンテ大学	学部 1 年	短期海外研修・約 2 週間

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

1 年未満（実際は大学 2 年次からの留学予定であったため準備期間が短い、感染症流行により実際の渡航は 1 年延期となった。）

⑤海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください（利用していない方は、利用しなかった理由や状況など）。

5 回以上
合格前は応募先や志望理由について相談させていただいた。合格後は、学校生活や現地大学の手続き等を相談させていただいた。
話し合うことで、自分の意志や考え、次にすべきことが明確になり、道筋立てて行動できた。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

IELTS : 1 回

IELTS 受験前は主に試験対策を行った。スコア獲得後は G30 受講や英語のニュースを視聴するなど、留学先大学で授業が受けられるように語学対策を行った。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

単位互換は行わなかった。教職は感染症流行により、介護実習がオンラインとなったため支障はなかったが、中学免許希望で 3 年次の渡航を希望する場合は、注意が必要。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG3001 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

渡航前に全履修科目を決定するが、学期開始後に大学ポータルサイトを通じて変更できる。

1 学期目

ENGL323 001 Varieties of English 週 3 時間（2 コマ）

1 コマ対面、1 コマオンラインの授業。英語の変種についてアンケートを取ったり、エクセル等を駆使したりするなど、実践的に学べた。

LING170 001 Introduction to How to Learn a Language 週 3 時間（2 コマ）

すべて対面。アプリを用いて授業が進行するため、ラップトップが必須。教授が愉快な人で、言語習得の仕組みなどについて、面白おかしく学ぶことができた。

LING222 001 Language Acquisition 週 3 時間（3 コマ）

すべて対面。1 コマは TA セッションとなり、グループワーク等を行う。子どもの言語習得について学んだ。

ACAM250 001 Asian Canadians in Popular Culture 週 3 時間（2 コマ）

ハイブリッド形式。（対面とオンライン両方で授業が進行し、対面出席は必須でない。）アジア系カナダ人の文化をジェンダーや食など様々な観点から学んだ。外部講師による講義回も多かった。

2 学期目：感染症流行により 1 か月間は完全オンライン

LING270 002 Introduction to Studies in Second Language Acquisition 週 3 時間（2 コマ）

対面授業開始後はすべて対面。第 2 言語習得について、ディスカッションベースで講義を受けた。

ENGL324 001 English Corpus Linguistics 週 3 時間（2 コマ）

1 コマ対面、1 コマオンライン。ペアでプレゼンテーションを行ったり、コーパスを用いたワークを行ったりした。

ENGL312 001 Discourse and Society 週 2 時間（2 コマ）

対面授業開始後はすべて対面。本来は週 3 時間だが、1 時間は自宅でのワークに充てられていた。社会運動について談話という観点から講義を受けた。グループワークが多かった。

ENGL328 001 Metaphor, Language, and Thought 週 3 時間（2 コマ）

ハイブリッド形式。メタファーを学んだ。毎回グループワークを通じて理解を深めた。

②授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

英語での慣用的なメタファーやアジア系カナダ人の文化など、日本では学ぶ機会が無か

った内容についていくために、積極的に人に聞いたり資料館などを訪れたりした。
わからないことや疑問に思ったことは些細なことでもすぐに先生や友達に尋ねた。

③学習面で困ったことはありましたか？どのように解決しましたか？

リーディングの予習課題は多かったが、スキミングをすることで授業についていくように工夫した。授業前には十分に読めなくても、テストやレポートを書く際にしっかりと読み込んだ。

グループプロジェクトでは身の振り方がわからなかったが、自分にできること、難しいことを最初に伝えて相互理解に努め、役割を全うした。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

バンクーバーは非常にアジア系の方が多い街であり、ダウンタウンでは日本食や日本製品を扱う店などが数多く存在するため、日本の味やモノが手に入らず恋しくなることはない。また、とにかく大学の敷地が驚くほど大きく、1つの学園都市として完結している。学生たちは勤勉かつ遊びや課外活動にも全力投球で、オンオフの切り替えが上手な印象。大学としては、マイノリティや先住民族への配慮を前面に打ち出していて、多様性という言葉がしっくりくる大学。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

ネット環境に関して、大学敷地内ではWifi環境は非常に整っている。また、公共交通機関や飲食店でもWifiを使えるところが多い。

大学施設は、図書館でパソコンが使えたり、ジム、飲食店や小売店、病院があったりするなど生活や勉強に必要なものはすべてそろっている。

バンクーバーではバスや電車が発達していて大学発行の定期券があるため、移動には困らない。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか（具体的にお願いします）？

Japan Association というサークルに入ったり、授業やジム、寮開催のイベント、旅行先で知り合った学生と仲良くなったりした。また、Tandem Program という Language Exchange プログラム（私の場合は日本語を教えて英語を学ぶ）があり、そこでも友達ができた。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

学期間の長期休暇や学期中の1週間の休みを利用して、カナダ各地を旅行した。

平日は勉強に充てることが多かったが、休日は友達とでかけたり、一人でダウンタウンや様々なところに遊びに行ったりした。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

大学には食堂のようなものはなく飲食店しかないため、基本的には自炊をして栄養バランスが偏らないように気を付けた。また、大学のジムにも通い、運動習慣を絶やさないようにした。

感染症に関して、ブリティッシュコロンビア州や大学では屋内でのマスク着用義務があったが、屋外でもなるべくマスクを着用した。常にアルコール消毒のボトルやウェットシー

トを持ち歩いてこまめに消毒することを心掛けた。

- ②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

病院に通ったことはなかったが、インフルエンザとコロナウイルスの3回目の予防接種を受けた。前者は大学のウェブサイトから申込み大学で接種し、後者は州の保健機関のウェブサイトから申し込んでダウンタウンの薬局で接種した。

- ③加入した保険の種類について教えてください。

☐留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

*キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

☐個人の保険のみ

☒キャンパス保険と個人の保険の二重加入

- ④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

☒はい（種類：入国のためにコロナウイルスワクチンが必須であった。）

☐いいえ

F.住居、食事、マナーなどについて

- ①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☒ 寮 ☐ 下宿 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
何人部屋	（ 6 ）人 個人部屋あり

- ②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

基本的に治安は良く、夜でもそこまで危険は感じないが、ダウンタウン付近の Hasting St. は日中でも治安が悪いため近寄ってはいけない。
寮の水回りは度々調子が悪くなり困ったが、そのたびにすぐに寮のスタッフが対応してくれた。
バンクーバーはカナダのほかの都市に比べて暖かいため、日本から持ってきたダウンジャケットで事足りた。

- ③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

使い慣れた薬（現地の薬局でも買えるが、日本より高価なうえに体に合うかわからないため）
調味料や化粧品・生理用品などは現地で日本と全く同じものが手に入るし、もちろん現地のものも日本のものと遜色なく使えた。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

JTB パブリッシング（2018）「るるぶカナダ」
Government of Canada, "Immigration, Refugees and Citizenship Canada," (<https://www.canada.ca/en/immigration-refugees-citizenship.html>): ビザ申請時に使用。
Province of British Columbia, "Home," (<https://www2.gov.bc.ca/gov/content/home>): COVID-19 に関する情報や政府方針が更新されるため確認必須。

G. 留学費用について

① 留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

食費など物価が高く、ブリティッシュコロンビア州では税金も高く表示は税別のため、買い物や外食の際には注意が必要。
教科書に関して、私は新品や e-book を購入したが、中古品などで安く手に入る。

② 奨学金はもらっていましたか？

☒ はい (奨学金名: JASSO 奨学金 支給額: 月 8 万 円)

☐ いいえ

③ 差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	約 22 万円	
保険代	約 15 万円	留学保険・大学の保険(強制加入)・州保険(州保険は義務だが途中で解約できる)
PCR 検査代・ビザ代	約 8 万円	入国・帰国時に有料の PCR 検査が必須だった。
住居費	月約 8 万円	光熱費・水道代込み
食費	月約 3-6 万円	
教科書代	約 3 万円	

H. 今後の進路や目標、就職活動について

① 卒業後の進路(進学、就職、その他)について教えてください。

☐ 進学

☒ 就職

☐ その他 ()

② 今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

民間就職と英語科教員で迷っている。留学以前は教員以外の公務員も視野にあったが、より教育に関連した仕事にも魅力を感じている。

③ 留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報をお願いします。

本格的な就職活動は行っていないが、インターンシップの選考などはオンラインで受けていた。近年はオンラインで選考が進むところが多いので、時差にさえ気を付ければ不都合はまったく無い。

I. 留学を終えて感じること

① 留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

夢だったのかと思うほどあっという間の 8 か月だった。日本では感染症によって、授業はオンライン、移動も自粛という制限された状況だったが、現地では勉強にも遊びにも全力を尽くすことができたので、とても充実していた。

日本にはいわゆる「移民」がほとんどいない中、日系カナディアンや中国・インドから移民してきた友人のリアルな体験話を聞いたことはとても印象に残った。

②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

英語力がとても伸びたかといわれると疑問符が付くが、それ以上に多様な価値観やタフネスが身についたと思う。

背景が全く異なる相手を完全に理解することは難しいが、受け入れようと努める心構え、また英語力以前に自分の意志を伝えようとする姿勢を養うことができた。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

柔軟な考え方や行動力を発揮できる大学生のうちに留学することは、自分の可能性を広げられるチャンスになると思います！留学は早期から計画的に進める必要があるので大変ですし、渡航後にも様々な困難が待っているとは思いますが、かけがえのない経験や友人ができると思うので頑張ってください！応援しています。

◆自由記述欄◆



左上：学内博物館（Beaty Biodiversity Museum）にある国内最大のシロナガスクジラの標本

左下：大学敷地の中心に位置する噴水、晴れた日は皆腰掛けて勉強している

右：学内にある新渡戸稲造ゆかりの日本庭園

↓大学から少し足を延ばせば、自然豊かな公園や島などに行くことができる。



Stanley Park



Vancouver Island (Butchart Gardens)